

## 「地理A」(2単位) 学習指導略案

使用教科書： 高校生の地理A (帝国書院)、新詳高等地図 (帝国書院)

使用資料集： 図説地理資料 世界の諸地域 NOW2020 (帝国書院)

付属教材： 描き込み白地図プリント (アフリカ)

対象クラス： 産業デザイン科1年 (39名)

単元： 第1部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題

3章 世界の諸地域の生活・文化

6節 サハラ以南のアフリカ (P86～P90) …本時

### 本時の目標

- 1 様々な理由で日本と関係が深いとされるアフリカの国々の国名と位置を確認する。
- 2 ナイル川の流路を描くことで外来河川やアフリカの地形及び気候の特徴を知る。
- 3 同じ公用語の国を着色することで、アフリカの植民地化について気付く。
- 4 白地図上に様々な情報を取捨選択して記入し、関連性、一貫性のある主題図を作成する。

### 本時の展開例

過程	学習活動	指導上の留意点
<p><b>【導入 10分】</b></p> <p>○ふり返りと本時の見通し</p>	<p>○前回書いたふり返りについての教師の感想等を聞き、ポートフォリオから今までの自分の白地図プリントを通して取り組みの現状を確認する。</p> <p><b>【ポートフォリオのふり返り】</b></p>	<p>○クラス全体について、取り組みへのプラス評価を伝え、個別に成果の見られた生徒の様子を例として取り上げ、工夫など試行錯誤すべきポイントを全体に伝える。</p>
<p><b>【展開 35分】</b></p> <p>○白地図の作業学習</p>	<p>○配布された白地図プリントの作業学習評価規準のC→ B→ Aに向けて、教科書や資料集などを使って取り組む。</p> <p><b>【評価基準を示した調べ学習】</b></p> <p>○授業スタイルはカフェ方式に近い形で作業学習を行う。カフェ方式に近い形とは、3人以内であれば、自分の好み的人数で作業学習に取り組める。ただし3人の場合はリーダーを決め、私語が学習内容から逸脱しないよう監督させる。</p> <p>○作業学習中、気になることがあれば教師を呼んで適宜助言を得る。</p>	<p>○生徒へ描き込み白地図プリントを1枚配布する。黒板にプリントの手順ごとの完成見本を3枚それぞれタイムライン的に掲示し、評価基準をわかりやすくする。</p> <p><b>【資料活用能力の評価】</b></p> <p>○生徒の活動の様子を観察し、頃合いを見計らって本時のねらいについて口頭及び簡易板書で説明する。</p> <p>○机間指導中、生徒の実態に合わせて個別に指導・助言を行う。</p>
<p><b>【まとめ 5分】</b></p> <p>○本時のふり返り</p>	<p>○本時でやるべき自分の到達点までできたか確認し、次回について考える。</p> <p><b>【自己評価】</b></p> <p>○使用教材教具の片付け等行う。</p> <p>○プリントをファイリングする。</p>	<p>○クラス全体に対して、それぞれの進捗を確認するよう促し、次回の取り組みのスケジュールを考えさせる。</p> <p>○提出された作品の点検 (授業後)</p> <p><b>【教員評価】</b></p>